



## 日本経済は復活できるか？

公益財団法人 国際通貨研究所  
理事長 行天 豊雄

年が明けて日本経済復活のドラマの幕が上った。年末に世界を驚かせた株高円安の安倍マジックが本物かどうか正念場になる。さし当っては日銀のインフレ・ターゲットと資産購入、財政面では補正予算ということだが、いずれもマーケットは織込み済だから、期待が裏切られた場合のネガティブな反応という可能性しかない。

となると、結局前政権から丸々引き継がれた基本問題、つまり社会保障と税の一体改革、TPP参加、農業改革、規制撤廃による競争力向上、少子高齢化対策というような課題について、新政権がどちらの方向に何時走り始めるのかという事実だけが待たれているということである。マーケットはそれを見定めて、日本経済の将来についての本格的な判断を下すことになる。

政府にとっても、企業にとっても、家計にとっても難問が山積していることは当然だが、あえて共通項を探すとすれば、今迄の「マーケット観」を変えなければならないということだろう。政府にとって従来のマーケットとは既得権保護と大衆迎合ということだった。しかしこれからは日本国民全体の将来の存亡を賭けた国際競争にどう勝ち残るかという新しいマーケットでの使命が待っている。

企業も従来の日本国内マーケットという空間的にも構造的にも固定された観念から完全に解放される必要がある。マーケットというのは企業の前に置かれている特定の存在ではなく、企業が置かれている無辺で変幻きわまりない存在だと思わねばなるまい。誰もがグローバル企業なのである。家計も金融とのかかわり合いが預金とクレジットカードだけという段階を卒業して、投資という新しく大きなマーケットに入って行かねば

ならない。英語で云うフィナンシャル・リテラシー（金融的読み書き能力）が今や必須課目なのである。

こうして国も企業も家計も新しいマーケットで生きるという自覚を持って行動すれば、1,400兆円の個人金融資産ももっと生産的にまわるようになるし、経済も活性化し、デフレも解消するのである。

日本経済が復活し、資金需要が高まれば、金利は上昇し為替相場では円高の力が働く。それは健全な円高だろう。しかし現在、米国経済はゆっくりと回復しており、そろそろ何時金融緩和政策を転換するかという出口政策の議論が始まっている。それに対して、日本ではこれから無制限の金融緩和政策をやろうという周遅れの状態である。この関係が続けば、円ドル相場は当然円安になるだろう。さらに、日本の経済再生が頓挫して世界が失望すれば、日本国債の投げ売りをきっかけに円安が進むだろう。

為替相場はいずれ経済の実体で決まるという基本的な因果関係は決して忘れてはならない。

(株式会社マネーパートナーズへの寄稿)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2012 Institute for International Monetary Affairs (公益財団法人 国際通貨研究所)  
All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.  
Address: 3-2, Nihombashi Hongokucho 1-chome, Chuo-ku, Tokyo 103-0021, Japan  
Telephone: 81-3-3245-6934, Facsimile: 81-3-3231-5422  
〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2  
電話 : 03-3245-6934 (代) ファックス : 03-3231-5422  
e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)  
URL: <http://www.iima.or.jp>